



VALORIZE ROTARY
COM
FÉ E ENTUSIASMO

ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし

1990-91年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 パウロV.Cコスタ ●第256地区ガバナー 原 猛
 - 会長——小林九満太 ●副会長——渡辺 宏策 ●幹事——斎藤 弘文
 - SAA——渡辺 喜彦、五十嵐 力 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
 - 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
 - 事務局——三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替わります)
- クラブ会報委員——渋谷 正一、金沢 興宗、木許 紘一、池田 千秋

出席者会員数 会員 74名中 49名

先々週出席率 93.15% (前年同期 92.00%)

今日のお花 白いバラ、黄色ユリ

ヴィジター 三条南より 小林博久君

ゲスト ロータリー財団奨学生 会田真理矢殿

先週のメイクアップ 6/13 加茂へ 池田千秋君

6/16 地区協議会へ (太田)

藤田説量君、山本福七君、吉井俊介君、渡辺宏策君、
石橋育於君、内山辰策君、堀川政雄君、広岡豊作君、
清水良一君、五十嵐総一君、松縄弘君、熊倉昌平君、
野村竹三郎君、小林正義君、以上14名

6/17 三条南へ 加藤紋次郎君、上木六治君、渡辺勝利君、
鈴木宗資君、大谷幸平君、長谷川有美君、
金沢興宗君、池田千秋君

6/18 三条北へ 古沢富雄君、加藤紋次郎君、堀川政雄君

会長挨拶 小林(九)会長

今回がこの例会場における私の会長としての最後の挨拶でございます。そこでご存じの方も多いと存じますがサムエル・ウルマンの「青春」の詩を贈ります。

人間生れて来た以上、ある時期には必ず生命を終らねばなりません。これ位確かな真理はないと存じます。昔中国の奏の始皇帝が徐福に命じて、不老長寿の薬を求めて東海の小島に船出させた話は有名ですが、不老長寿の薬などどこにもある訳がございません。人間誰れでも、いつまでも健康で元気で明るく生きたいと願わない者は居りません。それには心の持ち方が大切かと存じます。

——ウルマンの詩の朗読——

わがクラブの平均年齢は57.5歳位で決して若いとは言いません。このウルマンの「青春」の詩を熟読玩味して、お互い生ある限り若々しく明るく希望に満ちた人生を送りたいものと存じます。

幹事報告 斎藤(弘)幹事

◎日本支局より ロータリー適用相場変更のお知らせ!

現行レート145円→7月1日より142円に

ニコニコボックス ¥ 18,000

小林博久君 (南クラブ)

三条クラブ小林会長様、斎藤幹事様この一年間何かとご指導ご配意を賜り本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。三条クラブの会員皆様方周年行事等何かとお世話になり有難うございました。

小林(九)君

今日がこの例会場における私どもの年度の最後の例会です。一年間本当に有難うございました。

渡辺(宏)君

地区協に大勢の会員より出席頂き無事、行事一つ終わらせてもらいました。有難う御座居ました。14、15、16日、地場産センターで衣裳展示会を開催、お陰様で盛況でした。小林前会長夫人より華を添えて頂き有難うございました。

斎藤君

今日この例会場に於ける幹事としての最後の例会です。この一年間本当にお世話様になりました。

細井君

小林会長さん、斎藤幹事さん一年間大変御苦勞様でした。

内山(昭)君

会長幹事慰勞会に欠席させていただきます。一年間御苦勞様でした。

小林(英)君

地場産センターでの鶴亀社さんのイベントに家内がいけばなで協賛させて頂き、お世話になりました。

銅冶君、日戸君、五十嵐(総)君、清水君、捧君

会長のお話し、第七テーブル全員が平均年齢です。

委員会報告

・GSE報告：吉井俊介会員

4月6日(土)高崎ステーションホテルで次年度のGSEの事業計画についての相談があった。ガバナー月信No10、5Pの研究グループ交換派遣要員の募集のことでの記事が出ております。締め切りは今月末です。

今回はアメリカではなくイギリスとの交流です。派遣は新潟県側は2名、女性2人を推薦してくれとのこと。女子の事務の方でなく専門的な職業を持っているキャリアウーマンを推薦するようにとのこと。

地区協議会報告

・ロータリー財団：熊倉昌平会員

地区協の全般のロータリー財団セミナーで特別に金を集めるように説明があり、RIの方針で目標を揚げることになりました。

256地区は財団の寄附は世界で7番目、京都がトップ、上位は日本で、アメリカは何10番目位である。日本の成績は良いのですが、さらに高めたいとのこと。目標は、1人年間平均100ドルを集めたいとの要請でした。

・GSE地区委員：吉井俊介会員

16日(日)一日のみ参加しました。

256地区の本年度のGSEの職業交換はイギリスの110地区から(次年度から、0が1つ付き256地区は2560地区となる)プリストル(1100地区)という所より10月の初めから日本に団長以下6名、男性だけで新潟地区で8泊9日、長岡三条地区で7泊8日の受け入れをやり群馬に引き継ぐ。職業は刑事、電気工事、電力、水質検査、農業技術の方とロータリアンの6名。長岡地区と三条クラブで受け入れることになる。7月20日に会議を開いて決める。

派遣は先回は応募が少なく捜し歩いたが、今回は多い。新潟県側は女性4名(2人の所)当クラブからも1名。

・クラブ奉仕：内山辰策委員長

クラブ奉仕は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕が外に向けての奉仕で、会員の皆さんに誠心誠意奉仕するのがクラブ奉仕である。

建築でいいますと、クラブ奉仕は基礎工事で一階は職業奉仕、二階は社会奉仕、三階は国際奉仕のようなものである。

ロータリーの経営学を提唱されると良いと思う。

会長は一年でよいわけですから、我々の企業も社長は1年でよいわけですから、年中社長は心配しなくて良く一年だけ心配すれば、次の社長が心配してくれる。ロータリー経営をすれば間違いないと思った。

・職業奉仕：堀川政雄委員長

同じロータリークラブでもこなし方が違うと思った。他のクラブも勉強して変えられ

ることは変えた方が良いのではと思う。

・ロータアクト：清水良一委員長

メンバー不足、会員の増強を図る。

アクターの自覚、マンネリ化しているのではないかとロータリーの方で予算、事業計画とアクターの方で計画するにあたり、アクターだけにまかせず、金を出すけれど、口は出さずと言うことでなく、金を出して口も出した方が良いのではないだろうかとの説明があった。

34のロータアクトクラブがあるが、現在二つのクラブが休会している。

彼らが何をしているのか、掌握していきたい。

卓話

ロータリー財団奨学生 会田真理矢殿

先日、みな様のおかげで無事一年間のヘルシンキ大学での生活を終え、帰国することができました。本当にいろいろとお世話になり、感謝しています。

時のたつのは早いもので、ちょうど去年の今頃、ここに立ってスピーチしていたのがまるできのうの様です。それだけこの一年が充実していたということでしょうか。

地図を見るとフィンランドは北の果ての遠い遠い国で、なんととんでもない所に行ってしまったんだろうと自分でもあきれそうになりますが、地図を見さえしなければフィンランドはとても近い国のように感じます。

人々はもの静かで勤勉でねばりづよく、外国人に親切で、特に同じように小国でありながら大国ソ連と戦い、その折に、彼等の国が独立できたということで日本に対しては良い感情を持っているということもあって、私は異国にいるんだという異和感は一度も感じることはありませんでした。

また、言語の面から見てもフィンランド語は日本語に大変よく似ており、時々はっとしては、今のは日本語だったか、フィンランド語だったか、と考えこんでしまうこともしばしばでした。

例えばフィン語のMeは「私たち」、Teは「あなたたち」、Heは「彼等」を意味し、「よっぱらい運転」のことはフィン語でユオッパラッティ。「エイヨートッタカイ」「トッタ」といえば「そんなことはまさかあるまい」「いや本当だよ」の意になってしまうという、まったく信じられないほどの発音の類似なのです。

そう、それからまだありました。「ヨコハマ フマウタ」というと「殴ってやるか」の意で、「フマウタ トキヨ」と答えます「殴るなら殴ってみろ」という意味なのです。まるで「横浜船歌」と「船歌東京」ではありませんか！

名前も姓ではタカラとかハカラ、名前ではユキとかアキ、エリナ、アイノなど何となく



日本的です。ところがフィンランドで一般的な姓のひとつにアホカス、アホがあり、日本人の私としては何だか呼ぶのが悪いような気がしたことが何度かありました。

また、女の子の名前でミンナちゃんとヘンナちゃんがいたのですが、二人は姉妹でなんと彼女たちの姓もアホだったものですから、これは本当に最悪でした。「ミンナアホ」に「ヘンナアホ」になってしまうからです。

ヘルシンキのロータリークラブのミーティングでこのような両国語間に生まれるジョークについて話をした時、ひとりのロータリアンが立ち上がり、おもしろい話を聞かせて下さいました。彼の名前はヨウコなのですが、彼が日本を旅した際、名前を見てみなに女性と思われてしまった上、つづりをまちがえられてユオコとまで書かれてしまったというのです。ちなみにフィンランド語でユオコといえば「のみますか？」の意味なのです。

このようにフィンランドで男性名として使われているのは、日本では大抵女性名なのです。「アキ」「ミッコ」「ユッカ」「アリ」「ヨウコ」「ミカ」「ユキ」これらはみな男性名です。

私は言語学が専門なのでつい言葉の話が長くなってしまいましたが、次にサウナの話をしてしまおう。

サウナはフィンランドで生まれ、世界中に広まったもののひとつとして有名ですが、このサウナ、フィンランド人にとっては大変重要なもので、どこの家でもまず第一にサウナを建てるというほどで、公共の建物、例えば職場や学校などにも必ずひとつはサウナがあります。重要な会議などもサウナの中で行われ、はだかのつきあいが生まれる理です。大学の学生間のパーティーにもサウナがよくつかわれます。時には100℃近いサウナから真冬のこおった湖に穴をあけ、とびこんだり、雪の中をはだかどころげまわったりもするのですが、これが本場フィンランドのサウナの楽しみ方なのです。そしてサウナのあとは大変ふといマッカラとよばれるソーセージのグリルとつめたいビールがおきまりです。

ビールといえば、フィンランドにはなんと東郷平八郎のレーベルのビールがあります。彼は前にものべた理由で、フィンランドではちょっとした英雄なのです。その他チョコレートにはGEISHAなど、日本名があちこちに見られます。

彼等にとっての日本は地理的には遠い遠い国でも、心の上でのつながりは強く感じているようです。

彼等の好きな、そしてほこりをもっている言葉に「シス」があります。ことわっておきますが、これは決して死ぬという意味ではありません。日本語に訳せば「根性」とでもなりませうか。これが冬戦争で圧倒的多数のソ連軍と対等に戦ったフィンランドだましいです。私は、これは長くきびしい冬に耐えることで生まれた新潟県人のねばりづよさに似ていると感じています。それにしても、北の寒い国の人々の心は本当にあたたかいものです。外が寒い分人々は互いの心であたためあっているかのようです。

私はそんな人々のあたたかさにふれることができ、本当にすばらしい一年をすごすことができました。

学業面だけでなく、いろいろな面で収穫の多い留学でした。それを可能にして下さったロータリークラブのみな様、そしてロータリー財団に心からもういちど感謝の意を示したいと思います。また、これからの生活の中でより多くの人たちと、このすばらしい経験を分かちあっていけるよう努めるつもりです。本当にありがとうございました。

6月12日卓話

三条市文化団体協議会 会長 五十嵐正志殿

・自己紹介

三条市生まれ、三高時代に新劇と出会い、以後一時ぶどうの会山本安英さんの劇団に少し入り、その後、アングラ演劇唐十郎さんと一緒にやったり、4～5年を専門劇団でやりましたが、大半はアマチュア劇団でやって来ました。帰って22年になりますが、三条演劇研究会を若い連中とやって7、8年歩み続けた。演劇研究会は開店休業状態です。なかなか演劇どころではないということになって休んでいますが、そのうちやりだそうということになっている。



文化団体協議会は会長2年任期、私はこれで3期になる、7年目です。来年4月には退任の予定となっている。

・文化団体の組織の内容

加盟39団体、3500名位。大きい団体は池坊、親子劇場400～500人はいる。小さい所は10人足らずのところもある。

特長としては、雑炊みたいになんでもかんでもいっしょに入っているのと、運営が自主的にやられている所が県内ではめずらしい組織となっている。自主運営で会費を払ってやっている。

・文化団体協議会加盟団体39団体

洋画3、日本画2、書道1、俳句・川柳・短詩の文学関係3

花 関係——草月・池坊・盆栽・菊・山野草の5つ、手芸2

ステージ関係——洋楽・コーラス・ブラスバンド2つ、邦楽・観世宝生の2つ、3曲連盟、笛・尺八・三弦で3つ、民謡3つ・おけさ・たこばやし・あやめ会・詩吟2、社交ダンス2

その他——タコ同好会、らんちゅう研究会、錦鯉、将棋、百人一首、8ミリなど
おいらく山岳会など申込み2、3ある。

活動は週・月1～2回集まって勉強したり、発表は年最低1回から3回市民の皆様に見て頂くことになっている。

構成団体の特長として、3年以上継続ということと、市民のだれでも入会出来る。会費によって民主的・自主的に運営されている。特定の政治団体・宗教団体に加盟しない。

営利を目標とする団体ではない。内容の高低についてやっていない。

・歴史としては

今年38年目、戦後すぐ1、2年目文化連盟が出来、昭和27年発展的解消して文化団体協議会となった。戦後22、23年頃には雨後のたけのこのように出来た。これが初期。

中期はだれてきた。TVの発展の時期と同じ、低迷期があった。ここ10年位で芸術文化の大衆化でカルチャー時代になって数としては増えている。特に生涯教育が盛んになって文化活動にプラスになっている。

高齢化が問題になっている。いろんな団体が30年前にやり初めたのがずっと続いている。1年に1歳平均年齢が上がって来ている。これから10年、15年後が問題になっている。ブラスバンドは平均年齢22歳だが、これは逆に高校生・中学生が加わって低年齢化している。しかし90%が高年齢化が問題となっている。

低俗化、だれでも参加出来るのは良いが、低趣味になってレベルが上がっていかない。やるからにはハードにやらないと良いのは出来ないが、なかなかそうはいかない。楽しめばいいかとなると、これはどうかということがある。

今年は県展で3人奨励賞、去年は県展賞といい仕事をしている。人はいるが、初心者にあわせることにより質が問題になっている。

・施設の問題

発表をしようという施設がたりない。公民館でもいろいろ教育をやっている。200位あるのではないか。三条の状況では設備が不足しているのが大きな問題。文化会館ということになるがむずかしいところに来ている。

水戸が財政1%を使って水戸芸術会館を作って芸術発信基地とした。藤沢・多摩パルテノンなど色々な活動がある。

一方専門家だけでなく、一般市民がもっと利用出来るようなものを横浜では16区に1つずつ特長のある小屋を作る。客席にして450～500、多くて800というのをたくさん作るという方向にある。岸和田・尼崎は都市作りの核にしようとしている。

文化会館があるから良いという時代は終わった。今後は文化会館をどういうものを作るのか、どう使うのか、だれが使うのかを考えていかなければならない。

三条の場合どういう施設を作るかが、どういう街を作るかということに考えることになる。文化会館は今後いろいろなレベルで議論すれば三条市の将来にとっておもしろいものになると思っている。

低俗化の問題、これが今頭を悩ませている。市民から継続的に認められていけば問題ないが、入会資格は、いろいろ問題が出てくるのではないかと考えている。

将来の問題で私は悲観的にみている。活躍している人が60歳代が中心で40から下がほとんどいない。あと10年たって70代になった時には老人会と合併した方がいいのではないかと、そんな風になるのではないかと。若い人達に文化芸術に参加していくという土壌をどうやって作ってあげればいいのか。

絶望的に思っているのは、文化芸術のようなものをよけいなものとあまり貴とぶ気風がないと思う。若い人はこうしたものを敏感に感じる。企業の中でも余暇活動をしている者をあまり良いようにとらない。仕事の方の責任が重くなってくると8時、9時まで残業するということになる。現実にはこういう問題がたくさんある。

これから週休2日制になると労働時間ものびる傾向にあるので若い人が余暇にますます活動がやりにくいのではないかと思う。

三条の将来を考えると、企業の経営者のメンタリティー風土が変わっていくか、企業メセナ、三条でもやられているところがあるが、おそくなると思っている。

行政の力、行政がリードするという政治力・指導力・行政の力は大きい。指導者の情熱がなければならない。指導者をいかに育てるか、市の財産として応援するという方法をとらないと、今後の10年、15年先になった時に活気のある街にならないのではないかと、さびしい思いをしている。

体協でも同様の問題があろうかと思う。全体の底が上がってレベルが上がるのも大事だが、突出していいものを出していく力も意識的に作っていかないと、地域のレベルアップにならないのではないかと思う。

6月26日例会 会長、幹事慰労会 PM6:30～ 於 松木屋

7月3日例会 クラブアッセンブリー

7月10日例会 クラブアッセンブリー

PolioPlus



「開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を」